



日本遺産

藍のふるさと 阿波
～日本中を染め上げた
至高の青を訪ねて～

藍のふるさと

阿波を訪ねる旅

日本人が愛した
「神秘的なブルー」を探す

徳島県
徳島市
吉野川市
阿波市
美馬市
石井町
北島町
藍住町
板野町
上板町

阿波と藍の繋がりを紐解く



吉野川 写真は、美馬市で見られる景色。台風等の増水時には、潜水橋が濁流の中に隠れ、暴れ川である吉野川の洪水時の迫力が垣間見られる。

吉野川の氾濫が阿波の藍を生む

「阿波の北方きたかた」といわれる吉野川流域の平野部では、昔から藍づくりが行われてきた。江戸時代、その染め上がりの美しさから阿波の藍は「本藍」と呼ばれ、日本全国で親しまれていた。そんな良質な藍づくりの鍵は、雄大な吉野川にある。日本三大暴れ川の一つである吉野川は、たびたび氾濫し、流域は甚大な被害を受けた。その反面、洪水によって肥沃な土壌がもたらされ、豊富な伏流水にも恵まれたため、「阿波の北方」は、藍の栽培に適した土地となった。



阿波藍で染められた暖簾。様々な色合いと表情が魅力的。

① 葉藍



青色の成分が出る葉の部分を使用。

藍づくりの工程

② 糞すくも

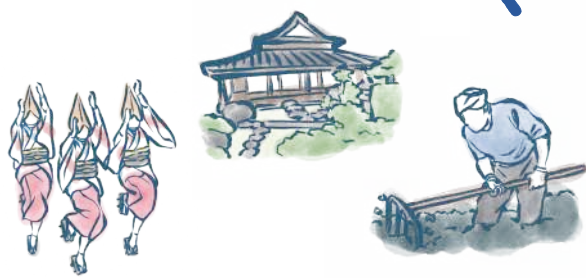


葉藍を発酵させて出来るのが「糞」と呼ばれる藍染料。

③ 藍染め



糞を使用して「染師」と呼ばれる職人が染液を作る。



藍のふるさとの物語

この地域では、今なお伝統的な製法で藍染料づくりが行われ、藍と共に歩んだ阿波の文化が大切に受け継がれている「藍のふるさと」といわれている。藍のふるさとでは、「糞すくも」と呼ばれる藍染料を作る職人が活躍し、まるでお城のような「藍屋敷」などの景観が、かつて藍で繁栄した徳島を彷彿とさせる。さらに、藍の流通によって芸事などの様々な文化が発展し、現代まで続いている。かつては「本藍」、現在は「阿波藍」として人々に愛される徳島の藍。藍のふるさとで藍に染まる旅へ出かけよう。

藍のふるさととの景観と風土が伝える 藍染料づくりの歴史を訪ねる



①②田中家住宅（藍屋敷）[MAP-①] 徳島県名西郡石井町藍畑高畑705
洪水対策として石垣が高く積まれている。最も高い石垣で2.7mもある。屋敷内には、脱出用の舟が吊るされており、洪水時には周囲の人々の救出に向かったそうだ。※見学可能（日曜日・祝日のみ）



③舞中島地区 [MAP-⑩]
徳島県美馬市穴吹町三島舞中島
特に洪水被害が多いこの地域には、至る所に高く石垣を築いた住宅や寺、高地蔵などが見られる。

厳しい自然との共生

阿波の北方では、高い石垣でかさ上げされた大きな屋敷があちこちに見られる。お城のような雰囲気を感じ出しているこの建物は藍屋敷と呼ばれる、阿波の特徴的な景観のひとつ。藍屋敷は、藍染料の生産・加工・流通を担った藍師や藍商人の住居であるとともに、染の製造工場であり、商談の場でもあった。

藍づくりを生業とする人々は、たびたび起こる洪水と隣り合わせて生活する必要があった。そのため、屋敷には様々な工夫が施されている。藍屋敷が作り出す景観から、藍づくりへの思いや、当時の生活が今も伝わってくる。



奥村家住宅（藍屋敷）[MAP-⑨]
徳島県板野郡藍住町徳命前須西172

（上写真）藍屋敷内の池の様子。立派な庭園から当時の栄華が感じられる。（右写真）藍屋敷の一般的な造りは、敷地の中央部に主屋が建ち、主屋の前に広い中庭という形のもの。そして、中庭を取り囲むように、藍染料の製造場「寝床」が建てられている。



豪壮な「藍屋敷」から当時の繁栄を思う

藍染料で富を得た藍商人たちは、藍染料の買い付けに來る全国各地の商人の信用を得るために競って豪壮な屋敷を構え、屋敷内で商談を行った。商人たちをもてなすための茶室や座敷もあり、藍商人は、接待に多くの金を使っていたようだ。お城のような藍屋敷がこの地域のあちこちに見られるのはこうした歴史的背景によるものである。

もっと
藍に染まる
スポット

藍住町歴史館「藍の館」[MAP-⑥]

奥村家住宅をそのまま利用した、阿波藍の歴史・文化が詳しく分かる展示資料館。寝床や、座敷など藍屋敷内も見学でき、当時の藍商人の暮らしが体感できる。藍染体験も可能。



犬伏久助像 [MAP-⑨]

徳島県板野郡板野町松谷山ノ内奥1

板野町の藍染庵には、阿波藍発展の立役者である犬伏久助の木像が安置されている。製造法の改良に取り組んだ久助は、「藍久さん」の愛称で今も親しまれている。



藍師が伝える、「染」づくりの技に触れる



今も続く伝統の藍づくり

徳島では、江戸時代から変わるこ
とのない藍染料「染」づくりが現代ま
で続く。加工場である寝床には、全身
全霊で染づくりに向き合う職人「藍
師」の姿がある。藍師は、葉藍に水を
打ち、発酵を促す作業を何度も繰り返す。発酵温度は60度を超え、寝床の中は湯気が立ちこめ、刺激的な発酵臭が充満する。普通なら到底耐えられない熱さの中、藍師は黙々と染に向き合う。その仕事は、先人の知恵や自身の経験、勘が必要とされている。

①発酵の状態を確かめる藍師。温度と匂いは藍染料の仕上がりを知るバロメーターとなる。②6月頃、一面緑の藍畑。③発酵が進んだ葉藍。④染づくりを終えた寝床。無事に染づくりが終えられたことへの感謝や、次の染づくりの無事を寝床で祈る。



▲完成した染

もっと
藍に染まる
スポット

上板町「技の館」 [MAP-⑤]

徳島県板野郡上板町泉谷原東 32 - 4



藍の栽培面積、染の製造・出荷量が日本一の上板町。「技の館」では、丁寧な指導のもと、「藍染め」の体験が気軽にできる。世界にたった一つのあなただけの藍染めTシャツやハンカチを作りに挑戦してみてください。

※藍染体験は要予約

美馬市 観光交流センター [MAP-⑥]

徳島県美馬市脇町大字脇町 45 - 1

美馬市脇町「うだつの町並み」の一角にある、観光拠点施設。藍染めや和傘制作の体験ができる。併設の喫茶店では、地場産の食材を堪能するのもおすすめ。

※体験は要予約

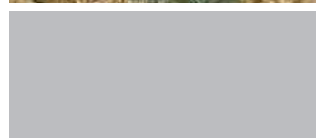


▼春にんじん

かつてはあたり一面藍畑だった阿波の北方の景色も、時代とともに変化しつつある。現在は、藍作の伝統を引き継ぎ、出荷量日本一を誇る春にんじんや、大根、蕪など、有数の園芸作物地帯となった。藍畑だけでなく、ビニールの

藍から様々な作物へ

トンネルが連なる大規模なにんじん畑や、●●も、阿波の北方の特徴的な景観となっている。



(上写真)ビニールに囲われたにんじん畑
(下写真)○○○○

阿波藍の流通と繁栄 藍商人が育てた芸能を楽しむ

藍商人が育てた「芸どころ」阿波

阿波の藍染料は、全国へと販路を広げ、それと共に阿波の藍商人も全国規模で、活躍するようになる。

藍商人たちは、全国各地との文化交流の担い手となり、徳島の色々な文化に影響を及ぼした。徳島の代名詞である阿波踊りからも、全国に雄飛した阿波の藍商人の姿を感じることが出来る。

芸事を好み、金銭を惜しまなかった阿波の藍商人。当時は、淡路の人形座を頻繁に招いて、人形芝居を楽しんだという。ここから阿波人形浄瑠璃などの木偶文化が隆盛する。



①阿波踊り 阿波踊りのリズムは奄美八重山の「六調」や沖縄の「カチャーシー」、九州の「ハイヤ節」や広島島の「ヤッサ節」などと共通点があるといわれる。②阿波人形浄瑠璃 浄瑠璃と三味線、人形遣いの三者で演じられる人形芝居。野外公演が多かったため、大きく光沢のある人形を遣い、「阿波の手」といわれる大きな振りで演じられる。現在も、40 近くの人形座が活動している。③阿波木偶「三番叟まわし」 二つの木箱に三番叟とえびすの人形を入れて、無病息災や商売繁盛を予祝する祝福芸。現在でも正月には 1000 軒近くの家々を門付けする。

阿波おどり会館 [MAP-①]

徳島県徳島市新町橋 2-20



年間を通して阿波踊りが楽しめる施設。毎日公演があり、一緒に踊ることもできる。阿波踊りのミュージアムや、県内の土産物が揃う物産販売所も。

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 [MAP-②]

徳島県徳島市川内町宮島本浦 184



阿波人形浄瑠璃を鑑賞できる施設。毎日の定期公演に加え様々な演目の特別公演も行っている。阿波人形浄瑠璃の歴史に関する展示もある。

もっと
藍に染まる
スポット

吉田家住宅 [MAP-③]

徳島県美馬市脇町大字脇町 53 番地

うだつの町並み内にある藍商の屋敷。一般公開されており、建築様式の素晴らしさと往時の藍商の暮らしぶりを体感できる。土産店や喫茶店が併設されている。



うだつの町並み [MAP-④]

徳島県美馬市脇町大字脇町 2

「うだつ」のてっぺんでは鬼面の瓦が覗みをきかせている。「うだつ」を上げるには相当な費用がかかったため、なかなか出世できない人のことを「うだつが上がらない」と言うようになったそうだ。



藍の流通を担った美馬市脇町南町には、藍商人たちが築き上げたうだつの町並みが残されている。「うだつ」とはもともと、隣家からの火災の延焼を防ぐために作られた防火壁。しかし、次第に名誉や財力を誇示するための装飾的な意味合いが強くなり、藍商人は競って豪華な「うだつ」を上げるようになった。「うだつ」の上だった豪商の屋敷から、当時の栄華を誇る暮らしがうかがわれる。

藍の集散地に残るうだつの町並み

上板町



上板町「技の館」[MAP-6]

徳島県板野郡上板町泉谷原東 32-4

グルメ 柿チップス



上板町産の柿を低温乾燥させたドライ柿チップス。

板野町



板野町「文化の館」

[MAP-20]

徳島県板野郡板野町 犬伏東谷 13-1

施設ホールにて板野町の藍について展示。

グルメ つけもの侍いたのすけ

地元商工会青年部がプロデュースした板野町名産の「漬物」。



お土産 道の駅いたの

差し替え
お願いいたします

令和3年4月オープン。産地直売所やレストランの他、ドッグラン、レンタサイクルなどの設備も。
徳島県板野郡板野町 川端字中手崎 39-5

藍住町



藍住町歴史館「藍の館」[MAP-6]

徳島県板野郡藍住町 徳命前須西 172

史跡勝瑞城館跡展示室 [MAP-7]

徳島県板野郡藍住町 勝瑞字東勝地

阿波藍の発祥の地?ともいわれる勝瑞。その歴史を知ることができる。



グルメ 愛住ねぎ

町内農家さん自慢のオリジナル商品「愛住ねぎ」。焼いても煮ても「いっぴん」。



徳島空港 (徳島阿波おどり空港)



徳島市



徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

[MAP-14]

徳島県徳島市 川内町宮島本浦 184



グルメ 瀧の焼餅

藍で繁栄した城下町徳島随一の観光名所「大瀧山持明院」の茶店が提供する焼餅。



阿波おどり会館 [MAP-10]

徳島県徳島市新町橋 2-20



お土産 徳島市産業支援交流センター

徳島県徳島市元町1丁目24 アミコビル1F・9F
藍染製品や木工品など地場産業品のお土産が揃う。

北島町



北島町立図書館・創世ホール

[MAP-11]

徳島県板野郡北島町 新喜来南古田 91

グルメ

「すだち最中」

徳島県産のすだちを使用した最中。
◎昭月堂本店



グルメ

「きたじまあむ」

特産のなると金時から手作りしたチョコ味のお菓子。

◎088-698-5279 (なかのファーム)

美馬市



美馬市 観光交流センター

[MAP-10]

徳島県美馬市脇町大字脇町 45-1



グルメ みまから

美馬地方で古くから栽培されていた「みまから唐辛子」が原材料。醤油、鰹節などで風味を増した激辛菜味。



穴吹駅 [MAP-17]

徳島県美馬市穴吹町穴吹岩手 5-1

構内に「藍のふるさと阿波」に関する情報コーナーがある。

阿波市



阿波市立 土成歴史館

[MAP-19]

徳島県阿波市土成町 土成丸山 1-1

構成文化財である手束家文書をはじめ、地域の歴史資料を展示。



グルメ

たらいうどん

阿波市土成町の郷土料理。たらいに入った釜揚げうどん。

藍のふるさと 日本遺産マップ



阿波市

阿波市立土成歴史館 [19]

美馬市

吉野川市

吉野川市



西麻植八幡神社 [MAP-18]

徳島県吉野川市鴨島町 西麻植種ノ原 155-1

地元の藍商人が寄進した狛犬や両部鳥居、太鼓橋から、地域の発展に貢献した藍商人の姿が思い浮かぶ。

グルメ 梅酒

全国で初めて「梅酒特区」に認定された美郷地区。

地元の種類豊富な梅の実で梅酒が作られている。



お土産 美郷物産館

徳島県吉野川市美郷峠 463-3

蛍舞い飛ぶ自然の宝庫から生まれる美郷の逸品をどうぞ。

石井町



田中家住宅

[MAP-1]

徳島県名西郡石井町 藍畑高畑 705

グルメ 藤やさい

石井町の花である「藤」をイメージできる紫色の野菜。



グルメ ドイツ仕込みの無添加ハム &ソーセージ



店主が本場ドイツで学んだこだわりの味。

☎ 088-637-4567

(自然派ハム工房 リーベ・フラウ)



徳島へのアクセス

高速バス でお越しの場合

大阪	約2時間30分	JR徳島駅前
神戸	約2時間	
岡山	約2時間30分	

飛行機 でお越しの場合

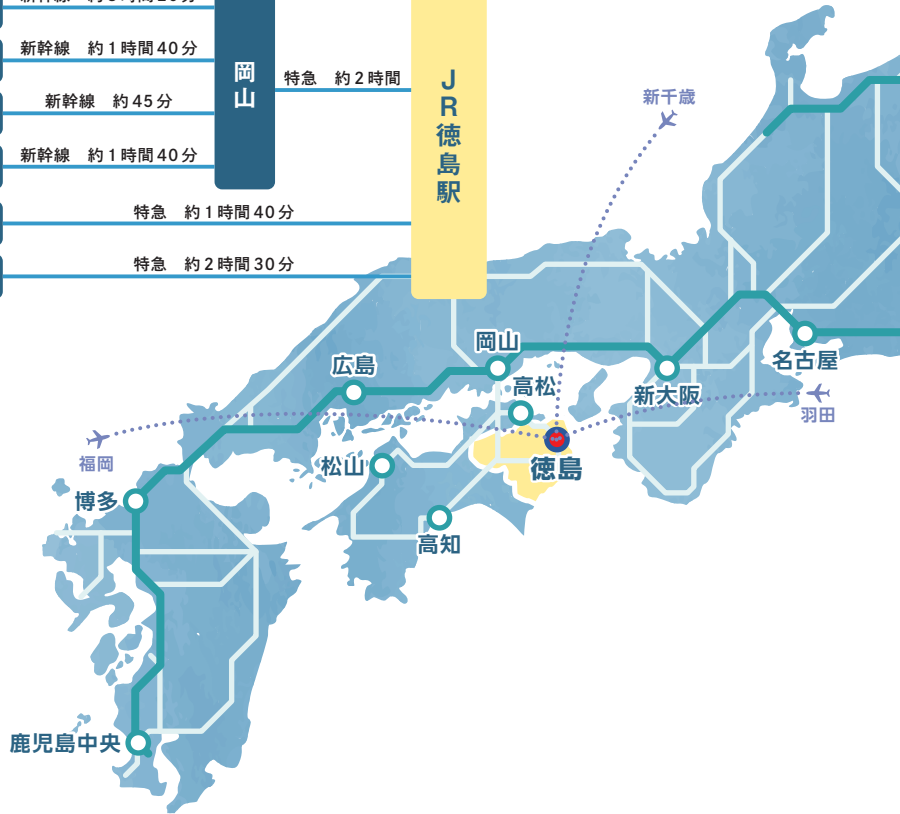
新千歳	約2時間	徳島空港
羽田	約1時間15分	
福岡	約1時間	

自動車 でお越しの場合

倉敷JCT	約2時間	徳島IC
高松中央IC	約1時間	
高知IC	約2時間	
松山IC	約2時間30分	

鉄道 でお越しの場合

東京	新幹線 約3時間20分	岡山	特急 約2時間	JR徳島駅
名古屋	新幹線 約1時間40分			
新大阪	新幹線 約45分			
博多	新幹線 約1時間40分			
高松	特急 約1時間40分			
高知	特急 約2時間30分			



構成文化財等に関するお問合せ

- 徳島市教育委員会 社会教育課 ----- ☎088-621-5418
- 吉野川市教育委員会 生涯学習課 ----- ☎0883-22-2271
- 阿波市教育委員会 社会教育課 ----- ☎0883-36-8743
- 美馬市教育委員会 地域学習推進課 ----- ☎0883-52-8011
- 石井町教育委員会 社会教育課 ----- ☎088-674-7505
- 北島町教育委員会 ----- ☎088-698-9812
- 藍住町教育委員会 社会教育課 ----- ☎088-637-3128
- 板野町教育委員会 ----- ☎088-672-5888
- 上板町教育委員会 ----- ☎088-694-6814

日本遺産
藍のふるさと阿波
～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～

スマートガイド

日本遺産構成文化財の音声ガイドや、VRCGなどのコンテンツを用意しています。お手持ちのスマートフォンやタブレットからぜひアクセスしてみてください。



スマートガイド TOP



音声ガイド TOP

<注意・免責事項>

- ・スマートガイドをご利用いただくにはQRコードリーダー等のアプリが必要です。
- ・スマートガイドは、インターネットで接続されます。インターネット接続に必要なパケット通信料は利用者のご負担になりますので、パケット定額サービスでの利用をおすすめします。
- ・スマートガイドのAPIの稼働状況によって本サービスが利用できない場合があります。
- ・利用者のスマートフォン又はタブレット等の仕様によって本サービスが利用できない場合があります。
- ・利用者は自己の責任においてスマートガイドを利用するものとし、アプリのダウンロードまたはスマートガイド利用に起因して機器及びデータに発生した損害についても全責任を負うものとし、当市町村は、一切責任を負わないものとします。

藍のふるさと 阿波を訪ねる旅

- 本パンフレットのお問い合わせ先 藍のふるさと阿波魅力発信協議会(藍住町教育委員会 社会教育課内) TEL 088-637-3128
 - 本パンフレットは、令和2年度文化芸術振興費補助金(日本遺産魅力発信推進事業)により作成したものです。
- 取材・文/藍のふるさと阿波魅力発信協議会・内田吉美 写真/藍のふるさと阿波魅力発信協議会・木下清隆



日本遺産